

第6次長期総合計画のあらまし

～ひと、まち、桜が咲きほこる先進のまち～

町の新しい長期総合計画「第6次大河原町長期総合計画」（計画期間：2019～2029）が、今月からスタートしました。長期総合計画は、まちの将来像やまちづくりの方向性を示すとともに、これを実現するための様々な政策・施策などを定める計画です。計画書は150ページにわたる長編のため、まちづくりの基本的な考え方（理念）と目指すべき町の姿（将来像）、そしてこれを実現するための政策展開の方向性や進め方（原則）などを示す「基本構想」部分をご紹介します。



「第6次大河原町長期総合計画【ダイジェスト版】」を作成し、広く町民の皆さんに知っていただくため、4月に区長さんを通して町内全世帯にお配りしています。ぜひ一度、手に取ってご覧ください。

確保や進出企業への支援を、観光では一目千本桜を活用した観光やインバウンド観光振興などを図ります。

8. 「次世代につなぐ学校教育、生涯学習分野育と多様な学びと生きがいづくり」

小学生の学力維持と中学生の学力向上を図ることや、多様な学習の場づくりを創出します。

行政経営
役場組織・行政運営分野
9. 「経営感覚あふれる行政改革の推進」

行政サービスの質の向上、将来を見据えた財政運営と公共施設の管理更新、組織改革とひとつぐりに取り組みます。

「まちへの『メンテナンス』」

本計画では、これらの対応方針を踏まえ、3つのまちづくりコンセプト（政策の3本柱）を設定しました。

1. 「住民自治・住民主権」

住民が主役のまちづくり、まちを担うひとつぐりを目指し、前長期総合計画で掲げた「認めあい 支えあい 活かしあう」を継承

して、全員参加のまちづくりを進めます。

2. 「生命（いのち）と安全を守る」

安全・安心が実感できるまちづくりのため、自然災害や犯罪、事故から町民を守り、健康な生活の維持や社会不安にしっかりと対応できることを目指します。

3. 「町を未来へとつなぐブランド化による選ばれたまちづくりを目指す」

中心性、先進性、利便性など町の個性と強みを活かしていきます。

「まちの将来像」

確実に到来する人口減少社会のなかで、人々がいきいきと活躍できるまちであるためには、過去から受け継いだ町の財産と、現在持っている町の能力を十分に活かすこと、そして、これからは、一歩先行く先進のまちづくりを継続し、まちのブランドを確立し誰からも選ばれるようなまちづくりを進めることが大事です。

これからも、まちの活力、誇り、魅力がずうっと「咲きほこる」ように第6次長期総合計画期間におけるまちの将来

現代社会は、東日本大震災などの自然災害の多発や、少子高齢化・人口減少社会到来という、大きな社会変化のただなかにあります。そのなかで、「つながり合うことの大切さ」や「生命（いのち）と安全を守ること」が、改めて強く意識されています。

本計画では、この計画策定の前提となる時代の大きな流れをとらえつつ、まちの現状と課題を、「まちづくりの大切な視点」として13の対応方針に整理しました。

政策全般に共通する課題と4つの対応方針

I 「人口減少の抑制と超高齢社会への対応」

移住定住の支援や教育環境の充実など町独自の総合的な人口政策を展開し、全ての住民が暮らしやすく、町外者を呼び込めるまちを目指します。

II 「町のブランド化とシティプロモーション」

一目千本桜や医療機関、教育環境等のわかりやすい「ブランド」を、町全体の魅力向上に結びつけ、積極的で戦略的なまち

の情報発信を進めます。

III 「町の象徴・一目千本桜の保護と活用」

住民や企業との幅広い協働による一目千本桜の維持や保全を図り、町全体のブランド化の柱として活用するとともに、確実に次世代に引き継ぎます。

IV 「まちの強みと資源を活かす広域連携と官民連携」

仙南における本町のこれまでの中心的役割を活かすとともに、商店街や地元企業とタイアップした総合的なまちづくりを展開します。

政策分野別課題と9つの対応方針

生活環境・住民自治分野

1. 「防災・減災の充実と生活の安全確保」

防災・減災インフラの充実により安全・安心なまちのブランド確立を図ります。

2. 「地域コミュニティの維持・再生と新たな自治のしくみづくり」

人のつながりを基本とし、自治を支えるひとつぐりとしくみづくりを進めます。

3. 「地域医療体制の充実

と健康づくりの普及」

医療体制の充実を活かし、生命を守る安心なまちの評価に結びつけます。

4. 「住み慣れた地域で暮らせる総合的福祉の展開」

高齢者や障がい者への医療・介護・予防等の一体的支援を提供する地域包括ケア体制を構築し、地域の福祉活動の活性化を図ります。

5. 「安心して産み育てられる子育て環境づくり」

町立保育所の建替や私立保育所の支援を行うとともに、地域による子育て支援体制を確立します。

6. 「将来を見据えた都市機能・公共施設の維持・整備」

コンパクトで効率的な都市形成を維持し、利便性を重視した都市整備を図ります。

産業、観光振興分野

7. 「地域産業の活性化と働く場づくり、起業・創業支援」

農業では、規模の拡大や担い手育成を、商業では、大河原商圏の維持拡大と市街地商店街のにぎわい創出を、工業では用地



「おおらかでたくましいひとつぐりプロジェクト」

主な取り組み：子育て・教育施設の充実、起業・創業支援とまちづくり人材の発掘と活用、「志教育」の推進、県内上位の学力維持・向上など

「安全・安心のまちづくりプロジェクト」

主な取り組み：交通安全・防犯対策の強化、地域医療体制の充実、公共施設・インフラ等の長寿命化と減災対策の推進など

「まち全体のブランド化プロジェクト」

主な取り組み：一目千本桜を活用したシティプロモーション、地場産品などの「食」を中心とした高付加価値化、結婚促進・子育て支援・移住定住支援等の実施、白石川右岸河川敷整備など

大河原町はこれから「一目千本桜」を町の象徴としていくよ！情報発信していくよ！